

令和4年9月吉日

公益社団法人 全国老人保健施設協会

会長 東 憲太郎 様

一般社団法人 全国デイ・ケア協会

会 長 近 藤 国 嗣

(公印省略)

令和4年度 厚生労働省老人保健健康増進等国庫補助金事業
「生活期リハビリテーションにおける適切な評価の在り方に関する調査研究事業」
アンケート調査の周知・伝達におけるご協力のお願い

謹啓 時下ますますご清祥の段、心よりお慶び申し上げます。平素より本会活動に格段のご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

この度、一般社団法人 全国デイ・ケア協会は、厚生労働省より採択を受け、令和4年度 厚生労働省老人保健健康増進等国庫補助金事業「生活期リハビリテーションにおける適切な評価の在り方に関する調査研究事業」を実施する運びとなりました。

令和3年度介護報酬改定の審議報告における「今後の課題」として、生活期リハビリテーションにおけるアウトカムの評価方法、また通所リハビリテーションにおける、ストラクチャー、プロセス、アウトカム評価を組み合わせた総合的な評価方法について検討していくべきとされています。

そこで、本事業では令和6年度介護報酬改定に向けて、リハビリテーションサービスのアウトカムを含めた適切な評価の在り方について、通所リハおよび訪問リハにおける令和3年度介護報酬改定による見直しの影響や、入院医療機関と訪問リハ・通所リハとの連携等を含め、実態調査を実施することに加えて、生活期リハにおけるアウトカムを含めた評価方法、通所リハにおける、ストラクチャー、プロセス、アウトカム評価を組み合わせた、総合的な評価方法について具体的な提言を報告書として取りまとめることを目的としています。

つきましては、本調査の趣旨をご賢察いただき、ご多忙中、誠に恐れ入りますが、ひとりでも多くの方に調査協力いただけますよう、貴会会員様へご周知・ご伝達にご協力を賜れますと幸いです。何卒よろしくごお願い申し上げます。

謹白

記

【調査名】 生活期リハビリテーションにおける適切な評価の在り方に関する調査研究事業

【対象】 通所リハビリテーション事業所 3,000件（無作為抽出）

訪問リハビリテーション事業所 1,500件（無作為抽出）

居宅介護支援事業所 500件（無作為抽出）

回復期リハビリテーション病棟 500件（無作為抽出）

介護老人保健施設 500件（無作為抽出）

【調査形式】 郵送配布・郵送回収法

【回答期限】 令和4年10月7日（金）

本調査事業および調査票に関するお問い合わせ先

一般社団法人 全国デイ・ケア協会 担当：佐々木 海人（ささき かいと）

Email: r04-rouken@day-care.jp